

事務事業外部評価シート

事務事業名	事務報告書作成事業	担当課・係	行政経営課 行政経営係
-------	-----------	-------	-------------

1. 事務事業の概要

事業概要 (具体的な事務事業の活動内容・進め方)	事業目的(働きかける対象は何か？ ・対象をどのような状態にしたいか？)	政策体系(まちづくりの目的・方針)	
各課で行った事務事業を年度単位で取りまとめ、報告書を作成し議会等に提供する。	対象 各課 職員 市議会議員 関係機関 市民	基本目標	市民みんなでつくる夢のあるまちづくり
		政策	人権を尊重した市民参加によるまちづくり
		施策	市政情報の共有と広聴活動の充実
		基本事業	広報活動の充実
意図 1年間の事務事業を取りまとめて報告することにより、事務事業の見直しや事務事業の現状を把握する。	事業期間		
	根拠法令・条例等		

2. 事務事業の外部評価

外部評価委員の意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全ての課・係の事業を集約した記録のため、継続して市が作成していくべきであると思われる。</li> <li>・現在は主に市議会議員が利用しているようであるが、市の記録として市民に対しても発信していく必要があると思われる。</li> <li>・マネジメントシートとは当初の作成目的が異なるため、統合するべきではないと考えられる。ただし、それぞれの重なる部分については精査し、追加しなくてはならない部分の見直しは実施するべきであると思われる。</li> <li>・書式や掲載内容の水準を統一し、わかりやすくするべきであると考えられる。</li> <li>・事務報告書をデータ化し公表することで、市民への広報にも繋がると考えられる。</li> <li>・紙による印刷を減らすことで、事業費及び人件費の削減につながると考えられるが、製本する冊数が減ることで逆にコスト増とならないか確認するべきであると思われる。</li> </ul>

3. 外部評価委員会としての評価結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(コスト削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作成にあたっては、データ化を推進し、冊子としての作成は記録用として数部のみにする事でコストを削減するべきである。</li> <li>・市の1年間の記録として今後も継続して作成していく必要があるが、マネジメントシートとの違いを明確にするため、それぞれの内容の精査をし、重複部分の削除や補足すべき部分の充実を図るべきである。</li> </ul>

4. 評価結果を踏まえての市の検討結果

今後の方向性	方向性の内容
事業のやり方改善(コスト削減)	<p>(外部評価のとおり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12月定例会前の代表者会議(11月18日)で諮り、議員の理解が得られれば、平成29年度から電子データによる配信とし、ペーパーレス化を図る。</li> <li>・内容の精査を行い、マネジメントシートとの調整を図る。</li> </ul>